

2 0 2 2 年 度

## 地方創生の取組概要

説 明 資 料

豊岡市 政策調整部 政策調整課



## 地方創生の取組概要（目次）

I	2022年度 地方創生の戦略体系	7
II	2022年度 地方創生事業の手段別予算概要	8
III	2022年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要	12

【戦略目的】暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
	01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている	
	No.1 情報戦略推進(豊岡ファンミーティング、国内向けHP改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂)【拡大】	13
	No.2 Iターン推進(移住プロモーション)【継続】	15
	重複 (No.10)豊岡スマートコミュニティ推進	
	重複 (No.13)地域おこし協力隊の推進	
	重複 (No.23)観光事業(公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)	
	01-02 豊岡を築立った人たちが豊岡とつながっている	
	No.3 Uターン推進(ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、就活応援ブック作成等)【継続】	16
	重複 (No.39)高校生の総合学習等支援	
	01-03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている	
	No.4 Iターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等)【拡大】	18
	No.5 定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)【継続】	19
	重複 (No.13)地域おこし協力隊の推進	
02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
	02-01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている	
	No.6 IT企業誘致推進【拡大】	21
	No.7 スマート農業推進【継続】	23
	重複 (No.16)子育て支援総合拠点等整備	
	02-02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
	No.8 内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)【継続】	24
	No.9 政策アドバイザー設置【継続】	26
	No.10 豊岡スマートコミュニティ推進【継続】	27
	No.11 新規就農総合支援【継続】	28
	No.12 豊岡農業スクール【継続】	29
	No.13 地域おこし協力隊の推進【継続】	30

02-03	<b>豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている</b>		
	No.14 豊岡靴ブランドPR推進【継続】	31	
	重複 (No.7)スマート農業推進		
	重複 (No.28)コウノトリ育むお米ブランド化推進		
	02-04 <b>市民が多様な人々を受け入れている</b>		
	No.15 多文化共生推進【拡大】	33	
02-04	No.16 子育て支援総合拠点等整備【継続】	35	
	重複 (No.4) I ターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等)		
	重複 (No.34)アーティスト・クリエイター移住等促進		
	03 <b>いきいきと暮らす女性が増えている</b>		
03-01	<b>性別に関わらず地域での協働が進んでいる</b>		
	No.17 ジェンダーギャップ解消推進【拡大】	36	
	No.18 子育て広場管理【継続】	37	
	No.19 ファミリーサポートセンター【継続】	38	
03-02	<b>性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている</b>		
	重複 (No.17)ジェンダーギャップ解消推進		
	重複 (No.18)子育て広場管理		
03-03	<b>ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている</b>		
	No.20 ワークイノベーション推進【継続】	41	
	No.21 子育て中の女性の就労促進【拡大】	42	
	重複 (No.16)子育て支援総合拠点等整備		
04	<b>豊岡で人々が世界と出会っている</b>		
	04-01	<b>世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる</b>	
		No.22 城崎温泉街交通環境改善【継続】	44
		No.23 観光事業(公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)【拡大】	46
		No.24 観光まちづくり推進(専門人材配置)【継続】	47
		No.25 インバウンド誘客推進【継続】	48
		No.26 豊岡演劇祭協同開催【継続】	49
		No.27 文化観光推進【拡大】	50
		04-02	<b>メイドイン豊岡が世界に広がっている</b>
	No.28 コウノトリ育むお米ブランド化推進【継続】		52
	重複 (No.33)アーティスト・イン・レジデンス		

04-03	<b>国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている</b>		
	No.29	出石永楽館歌舞伎開催【継続】	54
	No.30	豊岡アートシーズン2022【継続】	55
	No.31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2022参加)【継続】	57
	No.32	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2022参加等)【継続】	58
	No.33	アーティスト・イン・レジデンス【継続】	59
	No.34	アーティスト・クリエイター移住等促進【拡大】	60
	No.35	演劇のまちづくり推進【継続】	61
	重複	(No.13)地域おこし協力隊の推進	
	重複	(No.15)多文化共生推進	
	重複	(No.26)豊岡演劇祭協同開催	
	重複	(No.36)専門職大学連携推進	
	04-04	<b>世界の人々と対等に向き合う人材が増えている</b>	
No.36		専門職大学連携推進【継続】	62
重複		(No.26)豊岡演劇祭協同開催	
重複		(No.39)高校生の総合学習等支援	
重複	(No.41)英語教育推進		
05	<b>子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている</b>		
05-01	<b>子どもたちが豊岡のことをよく知っている</b>		
	No.37	ふるさと教育推進【継続】	64
	No.38	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり【継続】	65
重複	(No.39)高校生の総合学習等支援		
05-02	<b>子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている</b>		
	No.39	高校生の総合学習等支援【継続】	67
重複	(No.37)ふるさと教育推進		
05-03	<b>子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる</b>		
	No.40	コミュニケーション教育推進【継続】	69
	No.41	英語教育推進【継続】	70
	No.42	豊岡の未来を創る高校生支援【継続】	71
	No.43	非認知能力向上対策【拡大】	72
No.44	英語遊び保育推進【継続】	73	

<b>06</b>	<b>結婚したいと思う人が結婚できている</b>	
<b>06-01</b>	<b>若者が集い、交流する場が増えている</b>	
	No.45 民間団体への婚活イベント補助【継続】	75
	No.46 若者独身者交流【継続】	76
<b>06-02</b>	<b>多種多様な出会いの機会が充実している</b>	
	No.47 ボランティア仲人養成(恋するお見合い)【継続】	77
	No.48 出会い機会創出(はーとピー)【継続】	78
	重複 (No.45)民間団体への婚活イベント補助	
	重複 (No.46)若者独身者交流	
<b>06-03</b>	<b>交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している</b>	
	No.49 ボランティア仲人養成(縁むすびさん)【継続】	80
	No.50 結婚相談所機能拡充【継続】	82
	No.51 結婚・女性活躍推進調査【継続】	83
	重複 (No.16)子育て支援総合拠点等整備	
	重複 (No.48)出会い機会創出(はーとピー)	

# I 2022年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	
	主要手段—具体的手段	2022年度事業(*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載)
<b>手段 01</b>	<b>豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている</b>	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	情報戦略推進(豊岡ファンミーティング、国内向けHP改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂)、Iターン推進(移住プロモーション)、関係人口の創出・拡大、コウトリ野生復帰の取組み発信、豊岡スマートコミュニティ推進〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業(公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進(ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、就活応援ブック作成等)、高校生の総合学習等支援〔重複〕
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Iターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等)、定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
<b>手段 02</b>	<b>多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている</b>	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	IT企業誘致推進、スマート農業推進、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)、政策アドバイザー設置、豊岡スマートコミュニティ推進、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡靴ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、子育て支援総合拠点等整備、Iターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等)〔重複〕、アーティスト・クリエイター移住等促進〔重複〕
<b>手段 03</b>	<b>いきいきと暮らす女性が増えている</b>	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありがたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕
<b>手段 04</b>	<b>豊岡で人々が世界と出会っている</b>	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業(公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)、観光まちづくり推進(専門人材配置)、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観光推進
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2022、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2022参加)、城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2022参加等)、アーティスト・イン・レジデンス、アーティスト・クリエイター移住等促進、演劇のまちづくり推進、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、高校生の総合学習等支援〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
<b>手段 05</b>	<b>子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている</b>	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おっとりっしゃ!とよおかのものづくり、高校生の総合学習等支援〔重複〕
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	高校生の総合学習等支援、ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、豊岡の未来を創る高校生支援、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
<b>手段 06</b>	<b>結婚したいと思う人が結婚できている</b>	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	民間団体への婚活イベント補助、若者独身者交流
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	ボランティア仲人養成(恋するお見合い)、出会い機会創出(はーとピー)、民間団体への婚活イベント補助〔重複〕、若者独身者交流〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	ボランティア仲人養成(縁むすびさん)、結婚相談所機能拡充、結婚・女性活躍推進調査、子育て支援総合拠点等整備〔重複〕、出会い機会創出(はーとピー)〔重複〕

## Ⅱ 2022年度 地方創生事業の手段別予算概要

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
【01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	01	豊岡の良さが内外に伝わっている
	02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている
<b>01手段小計(5事業) ※重複は除く</b>		
【02】 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
	02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
	04	市民が多様な人々を受け入れている
<b>02手段小計(11事業) ※重複は除く</b>		
【03】 いきいきと暮らす女性が増えている	01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる
	02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
<b>03手段小計(5事業) ※重複は除く</b>		
【04】 豊岡で人々が世界と出会っている	01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる



(単位:千円)

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	情報戦略推進(豊岡ファンミーティング、国内向けHP改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂)	8,143	大交流課
2	Iターン推進(移住プロモーション)	2,903	環境経済課
重複	(No.10)豊岡スマートコミュニティ推進	—	—
重複	(No.13)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.23)観光事業(公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)	—	—
3	Uターン推進(ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、就活応援ブック作成等)	5,826	環境経済課
重複	(No.39)高校生の総合学習等支援	—	—
4	Iターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等)	5,164	環境経済課
5	定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)	27,900	環境経済課
重複	(No.13)地域おこし協力隊の推進	—	—
		49,936	
6	IT企業誘致推進	13,476	環境経済課
7	スマート農業推進	692	農林水産課
重複	(No.16)子育て支援総合拠点等整備	—	—
8	内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	59,679	環境経済課
9	政策アドバイザー設置	4,241	大交流課
10	豊岡スマートコミュニティ推進	1,114	大交流課
11	新規就農総合支援	38,098	農林水産課
12	豊岡農業スクール	8,240	農林水産課
13	地域おこし協力隊の推進	271,517	環境経済課
14	豊岡鞆ブランドPR推進	2,948	環境経済課
重複	(No.7)スマート農業推進	—	—
重複	(No.28)コウトリ育むお米ブランド化推進	—	—
15	多文化共生推進	8,112	政策調整課
16	子育て支援総合拠点等整備	76,404	こども育成課
重複	(No.4)Iターン推進(民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等)	—	—
重複	(No.34)アーティスト・クリエイター移住等促進	—	—
		484,521	
17	ジェンダーギャップ解消推進	6,222	ジェンダーギャップ対策室
18	子育て広場管理	196	健康増進課
19	ファミリーサポートセンター	1,902	こども育成課
重複	(No.17)ジェンダーギャップ解消推進	—	—
重複	(No.18)子育て広場管理	—	—
20	ワークイノベーション推進	7,658	ジェンダーギャップ対策室
21	子育て中の女性の就労促進	5,302	ジェンダーギャップ対策室
重複	(No.16)子育て支援総合拠点等整備	—	—
		21,280	
22	城崎温泉街交通環境改善	193	建設課
23	観光事業(公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)	22,536	大交流課
24	観光まちづくり推進(専門人材配置)	33,100	大交流課
25	インバウンド誘客推進	27,708	大交流課
26	豊岡演劇祭協同開催	54,344	大交流課
27	文化観光推進	13,799	大交流課

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
<b>04手段小計(15事業) ※重複は除く</b>		
【05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
<b>05手段小計(8事業) ※重複は除く</b>		
【06】 結婚したいと思う人が結婚できている	01	若者が集い、交流する場が増えている
	02	多種多様な出会いの機会が充実している
	03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
<b>06手段小計(7事業) ※重複は除く</b>		
<b>2022地方創生(51事業) 総計</b>		
※参考 2021地方創生(52事業)		

事業No.	事業名	予算額	担当課
28	コウトリ育むお米ブランド化推進	—	農林水産課
重複	(No.33)アーティスト・イン・レジデンス	—	—
29	出石永楽館歌舞伎開催	84,461	出石振興局地域振興課
30	豊岡アートシーズン2022	11,572	文化振興課
31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2022参加)	7,000	生涯学習課
32	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2022参加等)	18,700	大交流課
33	アーティスト・イン・レジデンス	16,581	大交流課
34	アーティスト・クリエイター移住等促進	112	大交流課
35	演劇のまちづくり推進	3,277	大交流課
重複	(No.13)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.15)多文化共生推進	—	—
重複	(No.26)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.36)専門職大学連携推進	—	—
36	専門職大学連携推進	10,544	大交流課
重複	(No.26)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.39)高校生の総合学習等支援	—	—
重複	(No.41)英語教育推進	—	—
		303,927	
37	ふるさと教育推進	2,870	こども教育課
38	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	400	環境経済課
重複	(No.39)高校生の総合学習等支援	—	—
39	高校生の総合学習等支援	2,100	環境経済課
重複	(No.37)ふるさと教育推進	—	—
40	コミュニケーション教育推進	575	こども教育課
41	英語教育推進	17,570	こども教育課
42	豊岡の未来を創る高校生支援	3,030	こども教育課
43	非認知能力向上対策	3,433	こども教育課
44	英語遊び保育推進	3,757	こども育成課
		33,735	
45	民間団体への婚活イベント補助	300	健康増進課
46	若者独身者交流	405	健康増進課
47	ボランティア仲人養成(恋するお見合い)	969	健康増進課
48	出会い機会創出(はーとピー)	3,265	健康増進課
重複	(No.45)民間団体への婚活イベント補助	—	—
重複	(No.46)若者独身者交流	—	—
49	ボランティア仲人養成(縁むすびさん)	1,352	健康増進課
50	結婚相談所機能拡充	821	健康増進課
51	結婚・女性活躍推進調査	428	健康増進課
重複	(No.16)子育て支援総合拠点等整備	—	—
重複	(No.48)出会い機会創出(はーとピー)	—	—
		7,540	
		900,939	※対前年比 46.0%
		(1,957,856)	

### Ⅲ 2022 年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要

#### 1 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）

上位目的 (最終アウトカム)	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的 (中間アウトカム)	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

【2040 年の豊岡市の政策目標人口 ⇒ 62,165 人】

- (1) 若者回復率（※10 歳代の転出超過数に対し、20 歳代の転入超過数が占める割合）
  - ・ 2015 年「39.5%」⇒ 2025 年までに「50%」に引き上げる
- (2) 合計特殊出生率（※1 人の女性が生涯に持つ子どもの数）
  - ・ 2015 年「1.82 人」⇒ 2035 年までに「2.3 人」に引き上げる

（参考：若者回復率 ～2010 年国勢調査時と 2015 年国勢調査時の比較～）

	2010 年国勢調査 (2005→2010 年)	2015 年国勢調査 (2010→2015 年)	
全体	34.2%	39.5%	( + 5.3 ポイント )
男	34.7%	52.2%	( + 17.5 ポイント )
女	33.4%	26.7%	( △ 6.7 ポイント )

#### 2 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市—Local&Global City—」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇らせ、地域活力の維持を図る。

「上位目的」（※最終アウトカム：豊岡市地方創生総合戦略において長期的に実現したい状態）を実現するために、「戦略目的」（※中間アウトカム：当面 5 年間程度で達成したい状態）を定め、戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この戦略目的に、それぞれ主要手段と、その主要手段を実現するための具体的手段を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

具体的 手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	2022年度 予算額	11,046千円
-----------	-------	-----------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
1	情報戦略推進 (豊岡ファンミーティング、国内向けHP改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂)	8,143千円	拡大
2	Iターン推進 (移住プロモーション)	2,903千円	継続
重複	(No.10) 豊岡スマートコミュニティ推進	(1,114千円)	—
重複	(No.13) 地域おこし協力隊の推進	(271,517千円)	—
重複	(No.23) 観光事業 (公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)	(22,536千円)	—
合計		11,046千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている			
No.1	事業名	情報戦略推進 (豊岡ファンミーティング、国内向けHP改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂)	2022年度 予算額	8,143千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡市のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン”が増え、“豊岡ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡市の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の取組み・理念に共感した支持者（サポーター）であり、周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン”との関係を構築・強化することで、旅の目的地・滞在先としての認知向上、リピートや地域内周遊による滞在時間の延長につなげる。

1 事業内容

- (1) 国内向けホームページ改修 【1,700千円】 <拡大>

「国内誘客促進強化に向けた情報発信戦略」に基づき、来訪者の情報行動に沿って豊岡ならではの魅力や楽しみ方を発信するため、体験コンテンツ情報を中心に掲載する既存国内向けWEBサイト「ふらっと、リトリートTOYOOKA」を改修する。

**主要手段01** 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

(2) 豊岡ファンミーティングの開催【2,239千円】

“豊岡ファン”との関係を深める場として、“ファンミーティング（豊岡ファン交流会）”を市内で開催する。

ア 開催時期 2022年9月（豊岡演劇祭2022開催期間中）

イ 開催場所 豊岡市内

ウ 事業内容

(ア) “豊岡ファン”へ豊岡市の取組みを紹介する。（情報アップデート）

(イ) 豊岡市内キーパーソンと“豊岡ファン”との交流会を実施する。

(3) メディア・SNSを活用した情報発信【2,854千円】＜拡大＞

ア 情報に応じて配信先を選定可能なPR会社を活用したプレスリリースの配信

イ 公式Facebook「大好き豊岡応援隊」広告配信

ウ 雑誌広告による情報発信

エ 首都圏メディアへの営業

(4) 観光パンフレット改訂【1,350千円】＜拡大＞

「豊岡市観光ガイドマップ」を国内向けホームページに合わせた内容に改訂する。

**2 事業期間**

2009年度～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

8,143千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
No. 2 事業名	I ターン推進 (移住プロモーション)	2022年度 予算額	2,903千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者のUIターンへの意識が醸成されている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住を検討する際に必要な情報（地域事情・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。

1 事業内容

- (1) 移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」等による情報発信  
市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事やSNSで発信する。併せて、住まい、仕事、支援制度などの情報も発信する。
- (2) 移住ポータルサイトの保守管理及び修正・更新  
ウェブサイトのシステム保守やデザイン変更、新規ページの作成など。

2 事業期間

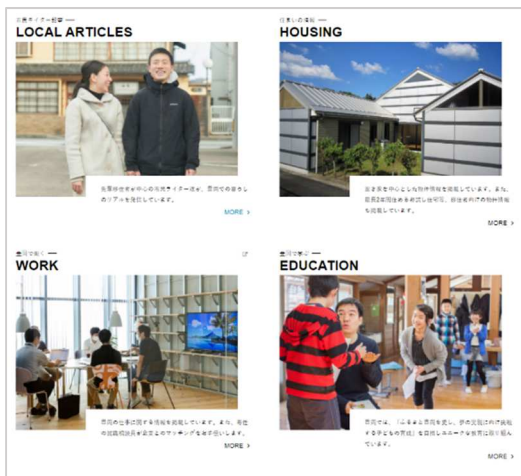
2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,903千円



移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」



市民ライターによる記事

担当課名【環境経済課】（内線2009）



具体的 手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	2022年度 予算額	5,826千円
-----------	-------	-----------------------	---------------	---------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
3	Uターン推進 (ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、 就活応援ブック作成等)	5,826千円	継続
重複	(No.39) 高校生の総合学習等支援	(2,100千円)	—
合計		5,826千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No.3	事業名	2022年度 予算額	5,826千円	新規 継続 拡大
	Uターン推進事業 (ジョブサポ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、 就活応援ブック作成等)			

《目指す将来像（姿）》

- 企業情報や仕事のやりがいでなく、豊岡での暮らしや楽しみ方を併せて情報発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Uターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

- 合同企業説明会等の開催、豊岡で働く魅力や暮らしの情報の発信など、オンラインを含め、様々な場所とタイミングでUターン希望者にマッチした情報発信を行い、途切れることなく意識を豊岡に向けてすることでUターンを促進する。

1 事業内容

- (1) ジョブサポ豊岡（Uターン希望者の職業紹介所）及びジョブナビ豊岡（求人・企業情報サイト）の運営【2,256千円】
  - ア ジョブサポ豊岡の運営
  - イ 仕事の相談  
オンラインイベントの開催（3回）  
ジョブナビ豊岡窓口相談（随時）
  - ウ ジョブナビ豊岡での情報発信  
市内登録企業100社（予定）の企業情報・しごと情報を掲載  
サイト管理及び更新業務
- (2) 但馬合同企業説明会の実施【2,250千円】
  - ア オンラインでの開催
  - イ 参加企業：但馬管内70社（うち豊岡35社）



## 主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

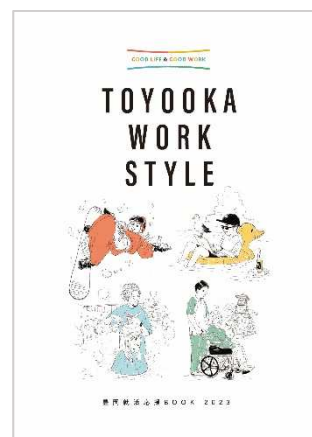
### (3) 就活応援ブック（冊子と電子ブックで魅力紹介）【1,320千円】

若者の多様な働き方や、市内在住者のおすすめスポットなどを紹介した冊子を作成。市内高校を通じて大学生等に配布する。

電子ブックには市内の企業情報も掲載し、ジョブナビ豊岡の各企業ページともリンクさせ、スマートフォン等で閲覧可能。



2021年度実施 オンライン企業説明会  
(オンラインイベントサイトで、企業との面談及びLIVE配信を実施)



2021年度就活応援ブック

### 2 事業期間

2015年度～

### 3 事業主体

豊岡市

### 4 予算額（補助率・負担率等）

5,826千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線2009）

具体的 手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	2022年度 予算額	33,064千円
-----------	-------	------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
4	Iターン推進 (民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査 実証業務等)	5,164千円	拡大
5	定住推進 (移住者等への支援、学生向けシェアハウス 整備補助、東京圏からの移住支援)	27,900千円	継続
重複	(No.13) 地域おこし協力隊の推進	(271,517千円)	—
合計		33,064千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている			
No.4	事業名	Iターン推進 (民間移住相談窓口の設置、空き家 実態調査実証業務等)	2022年度 予算額	5,164千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡市への移住を検討する人に寄り添い、移住定住に結び付ける。また、人と人とのつながりの場を作ることで、移住定住意欲の向上や移住者の地域への愛着醸成につなげる。

《事業目的（趣旨）》

- 移住希望者が求める情報を的確に提供する。また、地域と関わる企画について情報発信を行うとともに、移住相談時に地域住民との新たなつながりを創出する。

1 事業内容

- (1) 市ワンストップ窓口の設置【263千円】  
移住希望者への「地域・住まい・仕事等」の情報提供や、企業とのマッチング等を一括して実施する総合窓口の設置。
- (2) 移住イベントへの出展【457千円】  
潜在的な移住希望者が多い都市圏（東京・大阪）での移住イベントに出展し、豊岡の価値や魅力を伝え、豊岡への来訪や移住に導く。
- (3) 民間移住相談窓口の設置【3,432千円】  
移住相談と現地案内等の一部の業務を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行うなど、行政と連携・協力して移住を推進する。
- (4) 移住スカウトサービス「SMOUT」運用【352千円】  
移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「SMOUT（スマウト）」を利用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口を増加させる。

**主要手段 01** 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

- (5) 空き家実態調査実証業務【660千円】＜新規＞  
 専用のアプリを用いた空き家調査をエリアを限定して行い、調査データをデジタル化し、空き家情報の発信等に活用する。

- 2 事業期間  
2016年度～
- 3 事業主体  
豊岡市



移住スカウトサービス「SMOUT」を活用した情報発信。  
2020年度は、「SMOUT」で人気地域全国1位に。

- 4 予算額（補助率・負担率等）  
5,164千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線2009）

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No. 5 事業名	定住推進 (移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)	2022年度 予算額	27,900千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する方々に寄り添い、必要な情報が提供され、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

- 移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。

1 事業内容

- (1) 移住への各ステージに応じた支援【19,700千円】
- ア 移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金）【900千円】
- (ア) 宿泊費（補助率定額 大人2,000円/人、子ども1,000円/人）
  - (イ) 航空運賃航空運賃（補助率定額 1人当たり片道4,000円）
  - (ウ) レンタカー借受費用レンタカー借受費用（補助率定額 3,000円/日）
- イ 移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金）【18,500千円】
- (ア) 住宅（空き家）改修費（補助率2/3、上限1,000千円）

**主要手段 01** 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

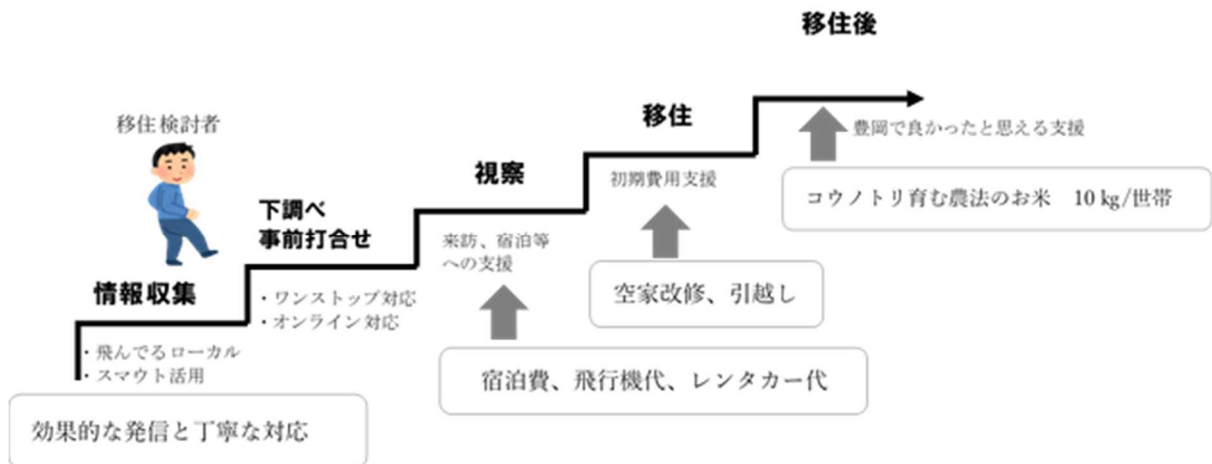
- (イ) 賃貸用空家の清掃費等（補助率10/10 上限100千円）
- (ウ) 引越し費用（補助率10/10 上限100千円）
- ウ 移住後の生活支援【300千円】
  - コウノトリ育む農法のお米（10kg）贈呈
- (2) 空き家等を活用した学生向けシェアハウス整備補助金【6,000千円】
  - 市内の空き家を対象として、芸術文化観光専門職大学生等の学生向けシェアハウスを整備する事業者を経費の一部を補助する。
  - 補助上限：3,000千円×2件
- (3) 東京圏からの移住支援金【2,200千円】
  - 特に人材が不足している業界の事業者と連携し、兵庫県のマッチングサイトに求人情報を掲載することで、東京圏からの人材確保を促進する。
  - 世帯移住：1,000千円×1件、単身移住：600千円×2件

- 2 事業期間  
2010年度～
- 3 事業主体  
豊岡市



飛んでるローカル豊岡の空き家物件情報

- 4 予算額（補助率・負担率等）  
27,900千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



担当課名【環境経済課】（内線2009）

具体的 手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	2022年度 予算額	14,168 千円
-----------	-------	----------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
6	IT企業誘致推進	13,476 千円	拡大
7	スマート農業推進	692 千円	継続
重複	(No.16) 子育て支援総合拠点等整備	(76,404 千円)	—
合計		14,168 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている			
No.6	事業名	IT企業誘致推進	2022年度 予算額	13,476 千円	新規 継続 <b>拡大</b>

《目指す将来像（姿）》

- 若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、UIターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 若者や女性が働きたい職場となることが期待されるIT企業等を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。

1 事業内容

- (1) オンライン方式によるIT企業誘致活動【5,576千円】＜拡大＞

ア 自治体との協働事業を希望する事業者や、地方にサテライトオフィス等の開設を検討する事業者をターゲット企業に設定する。

イ オンラインマッチングイベント（※）への参加によりターゲット企業へ接触し、市内誘致に向けた視察ツアーを実施するなど、市との関係性を構築する。

※地方へのビジネス参入を検討する企業とIT企業等のサテライトオフィス誘致を目指す自治体がオンライン上で面談するイベント

ウ ターゲット企業が有する技術を活用できる地域課題や、市内立地に興味を引くような施設・人物等の記事をWEBライターが作成してSNSで発信する。

エ 地域課題の解決をターゲット企業にビジネスチャンスと捉えてもらうことで誘致につなげる。

オ ア～エを円滑に実施するため、ターゲット企業選定に係る指導・助言、市内

視察ツアーのアテンド、ターゲット企業の市内進出における課題整理等への支援について業務委託を行う。

(2) IT関連事業所開設支援補助金【7,900千円】

市内に新たにIT関連の事業所を開設、または新規雇用を伴う事業拡大により移転等を行う事業者に対し、補助金を交付する。

対象経費	県補助併用の場合		市単独補助の場合	
	補助率	限度額	補助率	限度額
①賃借料	1/4以内	30万円/年	1/2以内	60万円/年
②通信回線使用料		50万円（※1）		100万円（※2）
③建物改修費				50万円
④事務機器取得費	100万円/年	100万円/年		
⑤プロジェクト経費（※3）	1/2以内			

期間 ①②3年間（36カ月）、③④開設時1回、⑤事業開始年度含む3年度間

※1 空き家等利用する場合は100万円

※2 空き家等利用する場合は200万円

※3 地域課題を解決するために市と協働で取り組む新製品、サービスの開発等に要する経費

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,476千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線2009）



手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている			
No. 7	事業名	スマート農業推進	2022年度 予算額	692千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ICT（情報技術）やIoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す。

《事業目的（趣旨）》

- コウノトリ育む農法の水管理省力化を、低コスト機器で実証するとともに、水田センサーによる水位及び水温のデータを取得・活用して、収量及び品質向上を図る。

1 事業内容

設定した水位で自動的に止水する機能に特化した低コスト機器により、初期導入コストを抑えつつ、水田の見回り時間削減による省力化を図る。

あわせて、2018、2019年度にコウノトリ育む農法（無農薬）省力化実証事業で使った、水位及び水温をスマートフォン等で確認できる水田センサーを併用設置することにより、水管理の状況を可視化して栽培管理に反映することができ、収量及び品質向上に資する。

2 事業期間

2020年度～2022年度

3 事業主体

豊岡市、農業者等

4 予算額（補助率・負担率等）

692千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



担当課名【農林水産課】（内線2361）

具体的 手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	2022年度 予算額	382,889 千円
-----------	-------	-------------------------	---------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
8	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	59,679 千円	継続
9	政策アドバイザー設置	4,241 千円	継続
10	豊岡スマートコミュニティ推進	1,114 千円	拡大
11	新規就農総合支援	38,098 千円	継続
12	豊岡農業スクール	8,240 千円	継続
13	地域おこし協力隊の推進	271,517 千円	継続
合計		382,889 千円	

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No. 8	事業名	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、 豊岡市継業バンクの運用等)	2022年度 予算額	59,679 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する人が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的(趣旨)》

- 成長を目指す企業、市内で創業に取り組む者を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

- (1) ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」<sup>IPPPO TOYOOKA</sup>(※)の運営【8,694千円】  
市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。  
ア ビジネスに関する総合相談  
事業の立ち上げや高度化に必要な助言、事業計画策定の支援などを行う。



- イ 外部専門家アドバイザー派遣相談  
ニッチ分野や企業会計・財務等の専門性の高い相談を対象に、外部専門家を派遣した相談を行う。



- ウ ビジネス勉強会・利用促進セミナーの開催  
創業検討者や市内企業等を対象にしたビジネス勉強会や「IPPO TOYOOKA」利用促進のためのセミナーを開催する。

(※) じばさんTAJIMAビル5階 <sup>フラップ トヨooka</sup> FLAP TOYOOKA内に、月に4日開設（利用は事前予約制）。  
但し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、テレビ会議システム等を用いたオンラインで事業を実施する場合がある。

(2) 補助制度【48,000千円】

- ア 豊岡市創業支援補助金【13,000千円】  
創業・事業承継に取り組む者のスタートアップに要する経費を支援する。
- イ 豊岡市ステップアップ支援補助金【35,000千円】  
具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。

制度	対象	商工団体の 伴走支援	補助率及び 補助額	対象経費
豊岡市創業支援 補助金	市内創業予定者 (移住予定者を含む)	必須	3分の1以内(注) 上限100万円	設備導入費、事業所開設費、 広告宣伝費 等
豊岡市ステップ アップ支援補助金	市内事業者		2分の1以内 下限50万円 上限200万円	設備導入費、事業所改修費、 展示会出展費、WEB改修費等

(注) 若者（45歳以下の者）及び女性は補助率2分の1

(3) 豊岡市創業支援等事業計画に基づく事業【2,985千円】

- ア 市内商工団体・金融機関等との連絡会議の開催  
イ コワーキングスペース「FLAP TOYOOKA」を活用した創業セミナーの開催  
ウ 豊岡市継業バンクによる事業承継の推進 等

2 事業期間

2019年度～2025年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

59,679千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【環境経済課】（内線2009）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.9	事業名	政策アドバイザー設置	2022年度 予算額	4,241 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域の課題を解決するための新たな事業や仕事にチャレンジする人が増え、その取組みが継続的に行われている。
- 統一・調和したデザインにより、まちの景観がつくられている。
- データを活用し、マーケティングの視点を取り入れた事業が継続的に行われている。

《事業目的（趣旨）》

- 政策・施策を実施するにあたり、市政における重要課題など政策的事項又は専門的事項について、専門的知識や技術、経験などを有する方から指導、助言を受けるため、豊岡市政策アドバイザーを設置する。

1 事業内容

本市の政策・施策を推進するにあたり、具体的な課題に対し専門的立場から助言等を行う政策アドバイザーを設置する。

＜助言を求める分野＞

- (1) ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスに関する分野
- (2) まちづくりにおけるデザイン全般に関する分野
- (3) データ分析やマーケティング全般に関する分野

2 事業期間

2018年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

4,241千円

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.10 事業名	豊岡スマートコミュニティ推進	2022年度 予算額	1,114 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市の掲げるビジョンである「いのちへの共感に満ちたまちづくり」、「小さな世界都市」及び「深さをもった演劇のまちづくり」の実現を図るため、適切な技術（ICT、IoT、データ活用等）を用いて生活の心地良さを高めつつ、人々が多様性を認め、フラットでスマートにつながるコミュニティを構築する。  
また、住む人、訪れる人にとっての豊岡市の価値を高め、地域の持続可能性を向上させる。

1 事業内容

「スマートコミュニティ」の実現に向け、地域課題の解決を図るための各種取組みを推進する。

(1) データ活用

ア 市の情報デジタル化

オープンデータの充実、区長DXなど

イ 人材育成

データ活用等に関する勉強会の実施

(2) 地域モビリティ

持続可能な地域モビリティのあり方の検討

(3) その他

エネルギー×モビリティ×農業のエコシステム構築検討 など

2 事業期間

2020年度～

3 事業主体

豊岡スマートコミュニティ推進機構



4 予算額（補助率・負担率等）

1,114千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.11	事業名	新規就農総合支援	2022年度 予算額	38,098千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業後継者が確保でき、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡で農業を頑張る若者に対し、機械や施設の導入にかかる初期投資の一部を支援するとともに、市外から移住する豊岡農業スクール生や新規就農者へは家賃補助を行うことにより負担を軽減し、地方創生の柱である若者の定住を推進する。

また、国の補助事業を活用し、就農直後の所得を確保する資金や、先代事業者（親等）からの経営の継承・発展を支援する資金を交付し、若者の農業への定着を図る。

1 事業内容

- (1) 就農希望者の発掘・呼び込み【108千円】  
市内外の相談会で、豊岡の農業の魅力を発信し、有望な人材を呼び込む。
- (2) 新規就農者の経営開始への支援【37,990千円】
  - ア 新規就農者確保事業【34,750千円】(新規就農者確保事業補助金 補助率:10/10)
    - (7) 農業次世代人材投資資金（継続）※2021年度以前の受給開始者対象  
1年あたり最高150万円/人の資金を最長5年間交付する。
    - (i) 新規就農者経営発展支援事業（新規）※2022年度の受給開始者対象  
経営開始3年目までに、最高825万円/人の範囲で、一定額の資金給付（最高450万円）及び機械等導入の資金支援（最高375万円、採択制）を行う。
    - (7) 経営継承・発展等支援事業（新規）  
事業の継承・発展に取り組む経営体に、最高100万円を交付する。
  - イ 若手農家支援事業【3,240千円】
    - (7) 農業用機械等整備費助成事業  
農業用機械等の導入経費の1/2以内(上限300万円)を補助する。
    - (i) 住居費助成事業  
市に転入する新規就農者等に家賃の1/2以内(上限2万円/月)を補助する。

2 事業期間

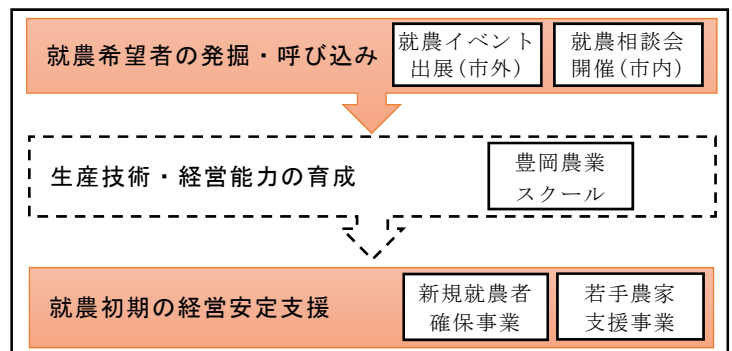
2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

38,098千円



担当課名【農林水産課】（内線2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.12 事業名	豊岡農業スクール	2022年度 予算額	8,240千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業後継者が確保でき、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の農業は、若手の就農者及び後継者の発掘・育成が喫緊の課題であり、「豊岡農業スクール」では意欲の高い若者を対象に、就農に必要な生産技術や経営能力を習得するための研修を実施し、明日の農業を持続可能な産業に結び付ける。

1 事業内容

市内の先進農業者を受入先とし、就農に必要な生産技術や経営能力を習得するための研修を実施する。事業運営は、豊岡市認定農業者連絡協議会に業務委託し、研修生の募集から受入先の選定、研修修了後の進路相談、就農後のフォローアップを行う。研修期間は最長3年間。

【参考】これまで25人が入校(2022年1月時点)。

内20人が修了し、市内で雇用就農・自営就農した。

2 事業期間

2013年度～

3 事業主体

豊岡市



環境創造型農業に取り組む、卒業生の圃場視察

4 予算額（補助率・負担率等）

8,240千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【農林水産課】（内線2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.13	事業名	地域おこし協力隊の推進	2022年度 予算額	271,517千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域おこし協力隊制度を活用して着任した隊員が、地域の課題解決に取り組むことで地域の活性化に繋がっている。また、活動期間を満了した隊員が市内で起業するなど、地域に定住している。

《事業目的（趣旨）》

- 総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。

1 事業内容

- (1) 隊員活動の推進
- (2) 隊員の起業支援
- (3) 新規隊員の募集
- (4) お試し協力隊制度（※）を活用した実地体験等の実施  
※応募検討者が事前に現地で活動体験を行う際に、滞在費用等を支援する制度
- (5) 隊員の活動サポートと勤怠管理

2 事業期間

2014年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

271,517千円

- (1) 隊員活動経費 263,870千円（継続44名204,170千円＋新規15名59,700千円）
- (2) 隊員の起業支援 5,000千円（補助率1/2、上限200万円）
- (3) 新規隊員の募集 2,000千円
- (4) お試し協力隊の実施 350千円
- (5) 隊員の活動サポート等 297千円



担当課名【環境経済課】（内線2009）



具体的 手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	2022 年度 予算額	2,948 千円
-----------	-------	----------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
14	豊岡靴ブランド PR 推進	2,948 千円	継続
重複	(No.7) スマート農業推進	(692 千円)	—
重複	(No.28) コウノトリ育むお米ブランド化推進	(— 千円)	—
合計		2,948 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている			
No.14	事業名	豊岡靴ブランド PR 推進	2022 年度 予算額	2,948 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 靴産業を強化することによって、豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡靴」ブランドの価値を向上させる取り組みを支援することにより、基盤産業である靴産業の振興をはかる。

1 事業内容

(1) 豊岡靴ブランドPR推進事業

兵庫県靴工業組合が「豊岡靴」ブランドの価値向上のために実施する下記の事業に対して補助を行う。

- ア KITTE丸の内店を起点とした豊岡靴のPR戦略・販売強化事業
- イ 国内外向けEC強化のための事業
- ウ SDGs 関連商品（廃漁網再生素材で作る靴）の強化事業

(2) 「豊岡靴」東京展示会の開催支援（年2回、KITTE丸の内店地下1階）

2 事業期間

2006年度～

3 事業主体

兵庫県鞆工業組合、豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,948千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



廃漁網再生素材で作られた鞆



担当課名【環境経済課】（内線2009）



具体的 手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	2022年度 予算額	84,516 千円
-----------	-------	------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
15	多文化共生推進	8,112 千円	拡大
16	子育て支援総合拠点等整備	76,404 千円	継続
重複	(No.4) Iターン推進 (民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査 実証業務等)	(5,164 千円)	—
重複	(No.34) アーティスト・クリエイター移 住等促進	(112 千円)	—
合計		84,516 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている			
No.15	事業名	多文化共生推進	2022年度 予算額	8,112 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している

《事業目的（趣旨）》

- 「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態を達成するため、ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できる取組みを推進する。

1 事業内容

- (1) 子育て支援総合拠点での外国人市民相談会・交流事業及び研修会等開催【新規】
  - ア 出張相談会・交流事業等の開催（委託）
    - 生活、在留資格等に関する相談会や多文化理解の交流事業等を実施する。
  - イ 多文化共生のための研修会開催
    - 外国にルーツを持つ子ども等に関する研修や、市民対象のやさしい日本語講座等を開催する。

(2) 多言語化等によるコミュニケーション支援及び生活支援

ア 市役所業務での多言語対応

ICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語による情報提供や相談対応を図るとともに、申請書類、生活情報等を多言語(やさしい日本語を含む)に翻訳し提供する。また、市の事業へ外国語通訳ボランティアを派遣する。

イ 在住外国人コミュニケーション支援事業

日本語教室の開設運営、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。

(3) 多文化共生推進プランの事業推進【新規】

関係機関等と連携・協働し、多文化共生推進プランに沿って事業を展開するため、「(仮称)多文化共生推進会議」を設置するとともに、外国人市民の意見を聴くため、ワークショップ等を開催する。

2 事業期間

2019年度～

3 事業主体

豊岡市



職員向けやさしい日本語講座の様子 (2022. 1. 19)

4 予算額 (補助率・負担率等)

8,112千円 (地方創生推進交付金 補助率: 交付対象額の1/2)

(市町日本語教育体制づくり事業補助金 補助率: 交付対象額の1/2)

担当課名【政策調整課】 (内線2081)

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
No.16 事業名	子育て支援総合拠点等整備	2022年度 予算額	76,404 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもや女性、若者、高齢者、外国人、障害者等、お互いの存在を当たり前のこととして大らかに受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを目指す。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て支援の総合拠点を整備するとともに、女性や若者、高齢者、外国人、障害者等「多様な人々が集い・交わる場」を創出し、地方創生を先導する「多様性を受け入れるまちづくり」の場を整備する。

1 事業内容

アイティ4階の整備に引き続き、7階の整備を行う。

7階には「こども支援センター」および子育て支援のための場所を設置し、子どもや子育て家庭の支援を行う。

開設は秋ごろを予定。

※4階では、No.15多文化共生推進事業、ファミリーサポートセンター事業、No.21子育て中の女性の就労促進事業、子育てなんでも相談室等を実施する予定。

豊岡市こども支援センター



つながる笑顔

2 事業期間

2021年度 ～ 2022年度

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

76,404千円（児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金 補助率：交付対象額の1/2）

- (1) 拠点整備 72,803千円
- (2) 移転費 3,601千円

担当課名【こども育成課】（内線2553）

具体的 手 段	03-01	性別に関わらず地域での協働が 進んでいる	2022 年度 予算額	8,320 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
17	ジェンダーギャップ解消推進	6,222 千円	拡大
18	子育て広場管理	196 千円	継続
19	ファミリーサポートセンター	1,902 千円	継続
合計		8,320 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.17 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	2022 年度 予算額	6,222 千円	新規 継続 <b>拡大</b>

《目指す将来像（姿）》

- 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021年3月策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

1 事業内容

- (1) 戦略の進行管理・ジェンダー視点の主流化推進
  - ア アドバイザーの設置
  - イ 戦略会議の開催（2022年7月～2022年12月）
  - ウ 庁内推進委員会の開催（2022年7月～2023年3月）
- (2) 市民の理解拡大と浸透に向けた戦略説明会、ワークショップの実施
  - ア アドバイザーの設置
  - イ 地域コミュニティ組織（モデル地区）、地域への普及啓発の推進役（育成含む）、区長連合会、教員など
- (3) （仮称）みらい塾の開催（女性のエンパワーメント、主権者教育含む）＜新規＞  
政策・方針決定過程への女性や若者の参画機会の拡大を図るため、女性を対象とした人材育成プログラムを実施する。

**主要手段 03** いきいきと暮らす女性が増えている

- (4) 男性の座談会（ジェンダーに関する意見交換会）の開催＜新規＞
- (5) 市民への意識啓発・理解促進ツールの制作（オリジナル意識啓発マンガ）
- (6) ジェンダーフリーを題材にした教材の配布＜新規＞  
市内の幼稚園・認定こども園・保育園（39園）にジェンダーフリーの絵本を配布し、保育・教育に活用する。

**2 事業期間**

2019年度～2030年度

**3 事業主体**

豊岡市



ジェンダーギャップを考える意見交換会の様子(2021. 8. 21)

**4 予算額（補助率・負担率等）**

6,222千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線2094）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.18	事業名	子育て広場管理	2022年度 予算額	196千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子どもも安心して遊べる子育て広場に親子が訪れ、まちに賑わいが生まれる。子育て世代を身近に感じることで、市民の子育て世代への応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

**1 事業内容**

子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人がいっしょに憩う広場を市内6か所に設置しています。

市が管理している豊岡子育て広場(豊岡市役所前)を除く5か所の子育て広場は、地域の「子育て広場芝生化実行委員会」が、除草、施肥等の維持管理を行う。

**2 事業期間**

2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

196千円



たんとう子育て広場で遊ぶ子どもたち

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.19	事業名	ファミリーサポートセンター	2022年度 予算額	1,902 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）の会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や、一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、地区回覧等



**主要手段 03** いきいきと暮らす女性が増えている

で事業のPRを行うとともに、更なる会員獲得のため、2022年度も継続して交流事業を実施する。

※2017年4月センター設立。同年7月から相互援助活動を開始。

会員数292人（2021年12月31日現在）

**2 事業期間**

2017年度 ～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

1,902千円（国補助金 補助率：基準額の1/3）

（県補助金 補助率：基準額の1/3）



担当課名【こども育成課】（内線2553）

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

具体的 手 段	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	2022 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.17) ジェンダーギャップ解消推進	(6,222 千円)	—
重複	(No.18) 子育て広場管理	(196 千円)	—
合計		— 千円	

※重複は合計から除く



具体的 手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	2022年度 予算額	12,960 千円
-----------	-------	----------------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
20	ワークイノベーション推進	7,658 千円	継続
21	子育て中の女性の就労促進	5,302 千円	拡大
重複	(No.16) 子育て支援総合拠点等整備	(76,404 千円)	—
合計		12,960 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている			
No.20	事業名	ワークイノベーション推進	2022年度 予算額	7,658 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。  
そのことを可視化することによって、若い女性のUIターンの増加や定着につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大

まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

(2) 経営者、人事担当者、管理職の意識改革、行動改革

- ア 多様な人材のモチベーション向上、知識やスキルの再習得の重要性、働きやすさや働きがいの向上に関する最新トレンドなどを学ぶセミナーを開催する。
- イ 従業員の現状を認識するための意識調査を実施する。

**主要手段 03** いきいきと暮らす女性が増えている

- (3) 従業員のキャリア形成、ネットワーク形成支援  
 ア 女性従業員向けに、キャリアやありたい姿について考えたり、ロジカルシンキング・プレゼンテーションスキルを学ぶセミナーを開催する。  
 また、個別の悩みや問題などを多様な知識・経験を有する専門家、地域で活躍する女性ロールモデルなどに相談できる機会を設ける。  
 イ 男性従業員向けに、家事・育児等と仕事の両立、無意識の偏見を学ぶセミナーを開催する。
- (4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及  
 女性の働きやすさ、働きがいが高い水準に達している事業所の表彰を行う。

**2 事業期間**

2018年～2027年度

**3 事業主体**

豊岡市



市内事業所の女性従業員向けセミナーの様子(2021. 10. 27)

**4 予算額（補助率・負担率等）**

7,658千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線2094）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.21 事業名	子育て中の女性の就労促進	2022年度 予算額	5,302千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをしながら、自分らしく生き生きと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援）にもあわせて取り組み、「デジタルスキル」を装着し、生き生きと働く女性のロールモデルを示す。
- 子育て支援総合拠点において、子育て中の働きたい女性の就労支援に取り組む。

**1 事業内容**

- (1) 働きたい女性を対象としたデジタルマーケティング人材の育成と出口戦略  
 実績を持つIT人材育成の専門家による5カ月間の講義（オンデマンドの録画ビデオ、対面式のスクーリング）と2カ月間の市内企業へのインターンシップ、ま

## 主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

た必要に応じてキャリア相談や起業相談を実施しながら、デジタルマーケティング人材（14名程度）を育成する。

さらに、育成したデジタルマーケティング人材については、ハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議、IPPO TOYOOKAなど関係団体と連携しながら就労先の確保や起業支援に取り組む。

### (2) 子育て支援総合拠点内での子育て中の働きたい女性の就労支援

アイティ4階の子育て支援総合拠点内において、子どもの一時預かり機能を活用しながら、子連れ出勤オフィスのトライアル開設をはじめ、就職相談や起業相談の出前実施、キャリア相談等の開設など、子育て中の働きたい女性の就労支援に総合的に取り組む。

## 2 事業期間

2021年度～

## 3 事業主体

豊岡市（協力機関・団体：ハローワーク豊岡、IPPO TOYOOKAなど）

## 4 予算額（補助率・負担率等）

5,302千円

（地方創生推進交付金、内閣府地域女性活躍推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線2094）

具体的 手 段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	2022 年度 予算額	151,680 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
22	城崎温泉街交通環境改善	193 千円	継続
23	観光事業 (公衆無線 LAN 運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等)	22,536 千円	拡大
24	観光まちづくり推進 (専門人材配置)	33,100 千円	継続
25	インバウンド誘客推進	27,708 千円	継続
26	豊岡演劇祭協同開催	54,344 千円	継続
27	文化観光推進	13,799 千円	拡大
合計		151,680 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.22	事業名	城崎温泉街交通環境改善	2022 年度 予算額	193 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 城崎温泉街で、観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎温泉街の中心部では、道路が狭いために車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1 事業内容

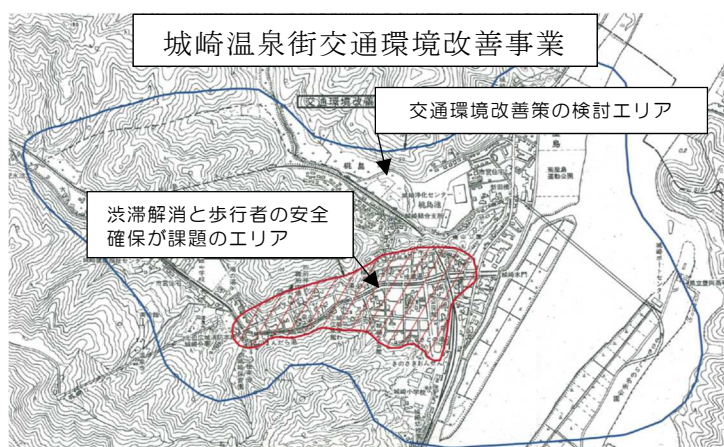
- (1) 城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動
- (2) 桃島バイパスを活用した交通迂回策の検討協議

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

2 事業期間  
2015年度～

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）  
193千円



城崎温泉関係事業者による「そぞろ歩きルール」  
連絡調整会議の様子

担当課名【建設課】（内線2421）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.23	事業名	観光事業 (公衆無線 LAN 運用、高付加価値化ツ ーリズム推進、国内誘客キャンペーン 業務等)	2022 年度 予算額	22,536 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力が多くのメディアに取り上げられ、「豊岡のローカル」が外部から高い評価を得ることで、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。
- 客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。
- 働き方改革やウィズコロナ社会における需要にも対応し、より多くの“豊岡ファン”が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 国内外のテレビ、雑誌等への露出や旅行商品造成につなげる。
- 観光に関する様々なデータを活用し、地域への経済波及効果を高める。
- 多様なニーズに対応する受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。
- 大交流ビジョンの実現に向け、ウィズコロナ社会の新しい観光の形を見据えた「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、誘客促進を図る。

1 事業内容

- (1) メディア・旅行エージェント招聘事業【3,000千円】
- (2) 「TOYOOKA\_CITY\_Free\_WiFi」公衆無線LAN運用業務【915千円】＜拡大＞
- (3) 観光施策に係る評価指標データ収集業務【4,772千円】
  - ア 来訪者アンケート業務 1,802千円
  - イ 携帯電話による位置情報等を活用した来訪者データ調査分析業務 2,970千円
- (4) 高付加価値化ツーリズム推進業務【3,987千円】＜拡大＞
 

豊岡市ならではの高付加価値コンテンツを造成することで、市内の周遊促進、観光消費額の増大及び新たな顧客の開拓を図るとともに、観光地マネジメント力の向上につなげる。
- (5) 国内WEBマーケティング業務【3,663千円】
 

WEBサイト訪問者の増加と旅の目的地・滞在先としての認知向上、リピートや市内周遊による滞在時間の延長につなげる。
- (6) 国内誘客キャンペーン業務【1,199千円】＜拡大＞
 

テーマやターゲットを絞った小規模キャンペーンを実施することで、旅行先として豊岡を選択してもらうとともに、市内の周遊促進や消費拡大を促す。
- (7) ワークेशन環境整備事業【5,000千円】
 

無線LAN、ワーキングスペース整備、備品購入補助  
(補助率1/2以内、上限1,000千円)

**主要手段 04** 豊岡で人々が世界と出会っている

**2 事業期間**

2015年度～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

22,536千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.24	事業名	観光まちづくり推進 （専門人材配置）	2022年度 予算額	33,100 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 一般社団法人豊岡観光イノベーション（以下、TTI）を中心に市民や幅広い産業、関係団体が相互に連携しながら「大交流モデル」を推進することで「大交流ビジョン」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 民間企業で培った専門的な知識や経験、人脈を持った人材やマーケティングの専門家を配置し、「大交流ビジョン」の推進を図る。  
また、「大交流ビジョン」の推進体制の中心に位置づけたTTIのプロパー人材の配置を支援する。

**1 事業内容**

企業人派遣、データアナリスト、TTIプロパー人材の配置

- (1) 企業人派遣 4名
  - ア 神姫バス株式会社
  - イ 西日本旅客鉄道株式会社
  - ウ 日本航空株式会社
- (2) データアナリストの配置 1名
- (3) プロパー人材の配置 2名

**2 事業期間**

2015年度～



3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

33,100千円

（企業人派遣は、総務省「地域活性化起業人制度」を活用）

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.25	事業名	インバウンド誘客推進	2022年度 予算額	27,708千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 対象市場における豊岡の認知度が高まり、海外の人々が豊岡の観光情報を容易かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、本市を訪れる外国人観光客が増加し、来訪者の満足度が向上している。

《事業目的（趣旨）》

- 対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、訪日観光再開時における本市への誘客につなげる。

1 事業内容

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大による日本への観光目的の入国停止の現状を鑑み、海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を中心とした事業を実施する。

(1) 海外向け広告運用業務【2,904千円】

本市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」におけるWEB広告配信

(2) 観光レップ業務【6,520千円】

現地のセールスレップ（代理店：欧米豪、台湾）によるメディア等への情報発信

(3) 海外プロモーション事業【2,468千円】

ア 旅行会社商談会参加

イ 現地のセールスレップ（代理店：タイ）によるメディア等への情報発信

ウ せとうちDMO、海の京都DMO等と連携したプロモーションの実施

(4) 豊岡市外国語版ホームページに関する業務【7,832千円】

保守管理、運用、コンテンツ制作

(5) 海外向け豊岡市総合WEBサイト管理運營業務【117千円】

コウノトリ、豊岡靴を含む海外向け本市総合WEBサイトの管理運営

**主要手段 04** 豊岡で人々が世界と出会っている

- (6) インフォメーションカウンター運営委託業務【3,506千円】  
城崎温泉ツーリストインフォメーション「SOZORO」の活用による外国人観光客向けのインフォメーション機能強化及び着地型ツアーの販売促進
- (7) 外国人スタッフ配置事業（JETプログラム）【4,166千円】  
インバウンド関連業務にあたるCIR（国際交流員）の配置
- (8) 申請費用・旅費【195千円】  
グリーン・ディステイネーションズ「世界の持続可能な観光地2022トップ100選」申請費用及びインバウンド関連団体協議のための旅費

**2 事業期間**

2013年度～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

27,708円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.26	事業名	豊岡演劇祭協同開催	2022年度 予算額	54,344 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡演劇祭が演ずる者、観る者のいずれにとっても価値のある場所となり、世界中から人々が訪れている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡演劇祭は、フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指して開催する。このことにより、豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。  
また、演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを図る。

**1 事業内容**

- (1) 豊岡演劇祭の開催支援
  - ア 豊岡演劇祭2022
    - (ア) 日程 2022年9月15日～25日

**主要手段 04** 豊岡で人々が世界と出会っている

- (イ) 会場 城崎国際アートセンター、江原河畔劇場、豊岡市民会館、豊岡市民プラザ、出石永楽館 他
- (ウ) 演目 ディレクターズプログラム、FRINGEプログラム 他
- (2) 豊岡演劇祭実行委員会の運営
  - ア 総会の開催、事務局業務

**2 事業期間**

2019年度～

**3 事業主体**

豊岡演劇祭実行委員会

**4 予算額（補助率・負担率等）**

54,344千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）  
（企業版ふるさと納税）

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.27	事業名	文化観光推進	2022年度 予算額	13,799 千円
				新規 継続 <b>拡大</b>

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のローカルをさらに磨きあげることで文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 「小さな世界都市-Local & Global City-」の実現に向け、本市の文化資源である“深さをもった演劇のまちづくり”を推進し、豊岡の突き抜けた価値を創造する。

**1 事業内容**

- (1) 城崎国際アートセンターテレワーク拠点施設利用促進事業
  - 中核とする文化観光拠点施設に位置付けている「城崎国際アートセンター」に新たに整備したテレワーク拠点施設の利用促進を図るため、モニターツアーを実施するとともに、雑誌等とのタイアップにより情報発信を行う。
- (2) 大道芸パフォーマンス公演の実施
  - 大道芸を中心としたパフォーマンス公演を市内各地で実施することにより、賑

## 主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

わいと市民や観光客がアートに触れる機会を創出する。

### (3) 但東地域交流プログラム「但東さいさい」事業

国内でも稀に見るほど、多くの舞堂（歌舞伎舞台）が現存する但東地域において、舞台芸能を地域とともに再考し、新たな文化資源へと昇華させるため、地域の子どもたちとワークショップを通じた神楽作品の創作と公演を行う。

### (4) “深さをもった演劇のまちづくり” プロモーション冊子制作

2021年度作成した“深さをもった演劇のまちづくり”紹介動画の冊子版を制作し、豊岡市の取組みを市民や市内外の企業へ発信する。

### (5) 玄武洞公園紹介ホームページの制作

リニューアルオープンする玄武洞公園の魅力を発信するため、基盤となるホームページを制作し、情報発信を行う。

## 2 事業期間

2021年度～2025年度

## 3 事業主体

豊岡市

## 4 予算額（補助率・負担率等）

13,799千円（文化芸術振興費補助金 補助率2/3）

担当課名【大交流課】（内線2011）

具体的手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	2022年度 予算額	— 千円
-------	-------	-------------------	---------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
28	コウノトリ育むお米ブランド化推進	— 千円	継続
重複	(No.33) アーティスト・イン・レジデンス	(16,581 千円)	—
合 計		— 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている			
No.28	事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進	2022年度 予算額	— 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により、農村に子供たちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」で栽培されたお米の真のブランド化を図り、市場経済に認められた持続可能な農業を振興する。

1 事業内容

海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。

※豊岡市外国語版HP「Toyooka City Global Site」にコウノトリ育む農法ページを掲載(2020年度から公開済)。

2 事業期間

2012年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算

コウノトリ育む農法推進事業費の中で一体的に取り組む。



Creating stork-friendly environments drives production of delicious rice  
Natural beauty x gastronomy

担当課名【農林水産課】（内線2361）

具体的 手 段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	2022 年度 予算額	141,703 千円
------------	-------	----------------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
29	出石永楽館歌舞伎開催	84,461 千円	継続
30	豊岡アートシーズン 2022	11,572 千円	継続
31	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン 2022 参加)	7,000 千円	継続
32	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2022 参加等)	18,700 千円	継続
33	アーティスト・イン・レジデンス	16,581 千円	継続
34	アーティスト・クリエイター移住等促進	112 千円	拡大
35	演劇のまちづくり推進	3,277 千円	継続
重複	(No.13) 地域おこし協力隊の推進	(271,517 千円)	—
重複	(No.15) 多文化共生推進	(8,112 千円)	—
重複	(No.26) 豊岡演劇祭協同開催	(54,344 千円)	—
重複	(No.36) 専門職大学連携推進	(10,544 千円)	—
合計		141,703 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 \_\_\_\_\_

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.29 事業名	出石永楽館歌舞伎開催	2022年度 予算額	84,461千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多くの歌舞伎ファンが、恒例の行事として永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。
- わが町の歌舞伎公演として、多くの市民が公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

- 2008年に「出石永楽館」の復原後、この歴史的な芝居小屋が持つ価値を発揮できる活用策として、歌舞伎公演を開催している。引き続き文化都市豊岡のイメージアップを図るとともに、市外からの交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として『第13回永楽館歌舞伎』を開催する。

1 事業内容

- (1) 公演期間 日程調整中 7日間（予定）
- (2) 公演回数 13回公演（予定）
- (3) 会場 豊岡市立出石永楽館
- (4) 内容 片岡愛之助さんを座頭とする歌舞伎の公演
- (5) 料金 一般12,000円、学生3,000円（全席指定席）

※学生料金の対象者は、市内在住または通学する小・中学生、高校生。

2 事業期間

2008年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

84,461千円



2019年11月 第12回公演の様子

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線5607）



手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.30 事業名	豊岡アートシーズン 2022	2022 年度 予算額	11,572 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
- 世界的な作品が豊岡で創作、発信されていることで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している文化芸術事業を「豊岡アートシーズン」という枠組みで一体的に展開することにより、「文化芸術のまち豊岡」のイメージを市内外に発信し、豊岡の魅力と豊岡に暮らすことの価値を高める。
- 豊岡に居ながらにして世界とつながることができる、優れた文化芸術体験を子どもたちに浴びせかけ（豊岡市文化芸術振興計画）、豊岡に暮らすことの価値を高めるとともに、豊岡で暮らしたいと考える若い世代を育てる。

1 事業内容

- (1) 市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2022（豊岡アートシーズン2022）」として広報
- (2) 市内の小学校2年生全員を対象に、子どもたちの意見を基に議論しながら進む、子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演、6年生全員を対象に、出石永楽館で伝統芸能に親しむ「出石永楽館狂言鑑賞教室」公演及び主に若年層・子育て世代を対象に、アートに親しむイベント「豊岡アート縁日」の開催

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

11,572千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の1／2以内）

<内訳> 豊岡アートシーズン2022広報等 2,060千円  
 共通イベント「豊岡アート縁日」 687千円  
 出石永楽館狂言鑑賞教室 2,079千円  
 子ども参加型演劇『サンタクロース会議』6,746千円

※豊岡アートシーズン2022参加事業全体の予算額については、次頁参照

【参考】

<Toyooka Art Season 2022の主要プログラム> ※日程は変更の可能性あり

No.	プログラム	開催日程	開催場所	所管課
①	とよおかアート縁日	7月23日	豊岡市民プラザ	文化振興課
②	出石永楽館狂言鑑賞教室	9月下旬	出石永楽館	〃
③	子ども参加型演劇『サンタクロース会議』	11月中下旬	豊岡市民プラザほか	〃
④	おでかけ訪問コンサート	5月～2023年3月	市内各小学校等	〃
⑤	豊岡ブラスフェスタ2022	10月1日	豊岡市民会館	〃
⑥	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぷの祭典」	5月31日～6月5日	市内各所	生涯学習課
⑦	劇の学校	5月～11月	豊岡市民プラザ	〃
⑧	市民演劇プロジェクト2022	9月3・4日	豊岡市民プラザ	〃
⑨	おとなの演劇学校	時期未定	豊岡市民プラザ	〃
⑩	ふれあいこどもまつり	8月28日	豊岡市民プラザ	〃
⑪	市原佐都子/Q『新作(タイトル未定)』リーディング上演	時期未定	城崎国際アートセンター	大交流課
⑫	とよおか芸術考現学博物館プロジェクト	4月～2023年3月	未定(竹野地域を予定)	〃

※豊岡アートシーズン2022主要プログラム全体の予算額 29,619千円

<内訳> ○数字は上表のプログラムNo.

文化振興課	文化芸術創造交流事業(広報等、①～③)	11,572千円
	市民会館自主事業(④・⑤)	1,662千円
生涯学習課	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業(⑥)	7,000千円
	市民プラザ事業(⑦～⑩)	6,537千円
大交流課	城崎国際アートセンター事業(⑪・⑫)	2,848千円

担当課名【文化振興課】(内線2771)

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.31 事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催 (豊岡アートシーズン 2022 参加)	2022 年度 予算額	7,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとや音楽への愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- “世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ” というスローガンのもと、子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながら世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。

1 事業内容

『第8回おんぷの祭典』 5月31日（火）～6月5日（日）の6日間

(1) 企画内容

- ア 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ・未就学児親子向け）
- イ 学校訪問コンサート 8小学校（学校関係者のみ）
- ウ 街角コンサート 8か所（旧市町単位）
- エ 稽古堂イブニングコンサート（5日間連続夕方開催、演奏者は日替わり）
- オ グランドフェスティバル（豊岡市民会館文化ホール）  
〔キッズコンサート・ファイナルコンサート〕

(2) 出演者

アンサンブル・ウィーン東京（弦楽4名）、シュバシコウ・カルテット（弦楽4名）、こうのとり・クインテット（木管5名）ほか。

※内容は調整中のため、変更になる可能性がある。

2 事業期間

2014年度～2024年度

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会



日高・江原河畔劇場(街角コンサート)2021.6.3

4 予算額（補助率・負担率等）

7,000千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の1/2以内）

担当課名【生涯学習課】（内線2741）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.32 事業名	城崎国際アートセンター運営・事業 (アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2022 参加等)	2022 年度 予算額	18,700 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活なかで芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 引き続き、芸術文化の国際的戦略拠点として運営、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化に努める。

1 事業内容

- (1) 芸術監督等の配置、アートマネジメント等業務の委託
  - ア 芸術監督
  - イ 館長
  - ウ プログラムディレクター、地域連携ディレクター 各1名（業務委託）
- (2) 芸術文化情報発信事業
 

ウェブサイトの有効運用を継続し、「アートセンター通信」のさらなる情報発信に努め、城崎国際アートセンター（KIAC）事業の周知及び賛同を呼び掛ける。
- (3) 文化芸術創造交流事業 豊岡アートシーズン2022参加事業
  - ア 『新作（タイトル未定）』
    - (ア) 日時・場所 時期未定・城崎国際アートセンター
    - (イ) 内容 市原佐都子/Qによるリーディング上演を予定。
  - イ とよおか芸術考現学博物館プロジェクト
    - (ア) 日時・場所 4月～2023年3月・竹野地域（予定）
    - (イ) 内容 アーティストが、地域の様々な文化・資源や地域住民との関わりを継続・発展させるため、「調査」「記録」「共有」「活用」の4要素を軸に展開するリサーチベースのプロジェクト。

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

18,700千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）  
（文化芸術創造拠点形成事業補助金 補助率：交付対象額の30%）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.33 事業名	アーティスト・イン・レジデンス	2022年度 予算額	16,581 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

- 公募により選考された国内外からのアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

1 事業内容

(1) 2022年度実施事業

- ア 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考  
滞在アーティストを募集、選考委員会を開催し、年間計画をまとめる。
- イ 地域交流プログラム実施、舞台操作等レジデンス支援  
滞在期間中に地域住民等との交流活動の実施、滞在制作の支援を行う。
- ウ アーティスト・イン・レジデンス プログラム事業PR  
滞在制作及び活動状況PR及びアーカイブ等としての冊子を作成する。
- エ アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 活動を通じた国際文化交流促進事業  
芸術家等の派遣・招聘により、海外AIR施設と交流を図る文化庁助成事業。

(2) 2022年度アーティスト・イン・レジデンス事業計画

- ア 募集・応募件数、国数 63件、17カ国
- イ 選考件数、国数 11件、4カ国

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

16,581千円（アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業費補助金  
補助率：交付対象額の10/10）

担当課名【大交流課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.34 事業名	アーティスト・クリエイター 一移住等促進	2022年度 予算額	112千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

- アーティスト・クリエイターの移住等により、
  - 1 多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり
  - 2 優れた文化芸術を創造し、人々が楽しむまちづくり
  - 3 センスのいいまちづくり
 を促し、「小さな世界都市ーLocal & Global Cityー」の実現に資する。

1 事業内容

(1) 市内ツアーの実施

芸術文化観光専門職大学の学生に卒業後も豊岡に住み続けてもらうためのきっかけ作りとして、市内案内ツアーを実施する。

(2) コワーキングスペース利用体験モニターツアーの実施

クリエイターが仕事をしやすい環境が整っていることをアピールするため、城崎国際アートセンターテレワーク拠点施設など、市内のコワーキングスペースの利用体験を含めたモニターツアーを実施する。

(3) アーティスト・クリエイター移住説明会・相談会の開催

豊岡演劇祭参加アーティストや上記(2)利用のクリエイターをメインターゲットとしたオンライン説明会兼相談会を開催する。

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

112千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.35	事業名	演劇のまちづくり推進	2022年度 予算額	3,277千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 社会や生活の様々な場面に演劇や演劇的なものの考え方などが染み込んだ「深さをもった演劇のまち」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 「深さをもった演劇のまち」創出に向けて、市民をはじめ市内外の方々に演劇を通じて多様性理解を促す機会を提供する。

1 事業内容

- (1) 深さをもった演劇のまちづくりコーディネーターの配置  
深さをもった演劇のまちづくりを推進していくため、まちづくりコーディネーターを配置する。
- (2) 企業版ふるさと納税の獲得推進  
「深さをもった演劇のまちづくり」を対外的にPRすることにより、豊岡のまちづくりに共感する企業を増やし、企業版ふるさと納税の獲得を目指す。

2 事業期間

2020年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,277千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）



具体的 手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	2022年度 予算額	10,544千円
-----------	-------	-----------------------	---------------	----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
36	専門職大学連携推進	10,544千円	継続
重複	(No.26) 豊岡演劇祭協同開催	(54,344千円)	—
重複	(No.39) 高校生の総合学習等支援	(2,100千円)	—
重複	(No.41) 英語教育推進	(17,570千円)	—
合計		10,544千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている			
No.36	事業名	専門職大学連携推進	2022年度 予算額	10,544千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 専門職大学で学ぶ若者と地域が一体となって地域課題解決のための連携を加速的に進め、地域活性化の先進地として全国に波及している。

《事業目的（趣旨）》

- 本市における地方創生の大きな推進力として期待される「芸術文化観光専門職大学」と積極的に連携・協働することで、若年層の転出抑制をはじめ、地域産業を担う高度な専門的職業人の育成や地元企業に就職する若者を増やす。  
また、大学が有する機能や多様な専門的人材の知識を最大限活用し、協働して地域課題の解決を図るとともに、学生が地域に溶け込み様々な活動を実践、活躍できるよう支援することで、新たな価値の創造や地域への定着を図る。

1 事業内容

地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。

(1) 豊岡市高大連携事業の実施

市内の高校生・高等専修学校生を対象に、コミュニケーションワークショップを実施し、潜在的コミュニケーション能力を引き出す。計50回実施予定。

(2) 豊岡市ジュニアプレカレッジ事業の実施

市内の中学3年生を対象に、模擬講義の受講や施設・授業の見学を行い、高等教育機関である大学というものを知り、知的好奇心を高めることで、主体的な進路選択に対する動機付けにつなげる。

(3) 豊岡市コミュニケーション・ツーリズムにおけるヘルス&スポーツツーリズム事業推進

コロナ禍で生まれた価値観に対応した、リピーター、周遊・回遊、滞在につながる仕組みを構築するため、「アウトドア&スポーツ」「リトリート&ビューティ」「ワーケーション&ブレジジャー」をテーマに、現状調査、事業の基本計画・戦略構築、仮説プログラムの開発・実施・検証を行う。

(4) 専門職大学教員・豊岡市提案事業実施業務

その他、地域課題の解決につながる事業をRICと調整し、実施する。

2 事業期間

2021年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,544千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【大交流課】（内線2011）

具体的 手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	2022年度 予算額	3,270千円
-----------	-------	---------------------	---------------	---------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
37	ふるさと教育推進	2,870千円	継続
38	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	400千円	継続
重複	(No.39) 高校生の総合学習等支援	(2,100千円)	—
合計		3,270千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	05 - 01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.37	事業名	ふるさと教育推進	2022年度 予算額	2,870千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 教育委員会、コウノトリ共生部、環境経済部が協働して作成した「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

**2 事業期間**

2017年度～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

2,870千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.38 事業名	おっとりっしゃ！とよおかのものづくり	2022年度 予算額	400千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元を誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となりうることに對する市民の理解を促進する。

**1 事業内容**

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について補助を行う。また、ウィズコロナの取組みとして、オンラインを活用するなどの新たな手法を取り入れた開催を検討する。

(1) 「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要

- ア 子ども向けのものづくり体験やおもしろ教室（オンライン活用なども検討）
- イ 会員企業等の製品・技術の紹介を行う企業展示 ほか

**2 事業期間**

2014年度～

**3 事業主体**

豊岡市工業会

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

4 予算額（補助率・負担率等）

400千円



『おっとりっしゃ！とよおかのものづくりVI』（2019.8.4-5※）の様子

※2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

担当課名【環境経済課】（内線 2009）

具体的 手 段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2022 年度 予算額	2,100 千円
------------	-------	-----------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
39	高校生の総合学習等支援	2,100 千円	継続
重複	(No.37) ふるさと教育推進	(2,870 千円)	—
合計		2,100 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている			
No.39	事業名	高校生の総合学習等支援	2022 年度 予算額	2,100 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡が好きになり、地域をより良くしたいと思う高校生が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 学校内での活動において、豊岡市の演劇を用いたまちづくりや地域資源について知る機会を設け、豊岡の可能性に気付いてもらう。  
また、学校外においても地域住民と関わりながら地域を活性化する企画に携わることで、当事者意識やシビックプライドを醸成する。

1 事業内容

(1) 学校内での活動支援

ア 地域探究活動

地域課題解決に向けた総合学習や体験活動を通じて地域探究を行う。豊岡高校、近大豊岡高校、大岡学園で実施予定。

イ 仕事や企業の探求活動

仕事体験イベントや企業見学の実施。豊岡総合高校、出石高校、豊岡高校定時制で実施予定。

(2) 学校外での活動支援

高校生キャリア塾等の活動支援

但馬夢テーブル委員会（事務局：但馬県民局）が高校生を対象にしたキャリア塾を開催。「高校生と地域のコラボによる地域活性化企画」を実施予定。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

2 事業期間  
2017年度～

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）  
2,100千円  
（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）



高校生と地域のコラボによる地域活性化企画



仕事体験会の様子

担当課名【環境経済課】（内線2009）

具体的 手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2022年度 予算額	28,365千円
-----------	-------	-----------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
40	コミュニケーション教育推進	575千円	継続
41	英語教育推進	17,570千円	継続
42	豊岡の未来を創る高校生支援	3,030千円	継続
43	非認知能力向上対策	3,433千円	拡大
44	英語遊び保育推進	3,757千円	継続
合計		28,365千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.40	事業名	コミュニケーション教育推進	2022年度 予算額	575千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルな町である豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Iターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組を行う。



**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

(2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。

また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

**2 事業期間**

2015年度～

**3 事業主体**

豊岡市

**4 予算額（補助率・負担率等）**

575千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

担当課名【こども教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.41	事業名	英語教育推進	2022年度 予算額	17,570千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

○ ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

○ 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語（英語）科へと9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。

**1 事業内容**

- (1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
- (2) すべての小学校に配置しているALTとのティーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。（JETプログラムALTを11名配置）
- (3) 英語教育推進委員会（構成員 校長2名、教職員10名）において豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
- (4) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会（豊岡市英語教育研修会）を実施する。
- (5) イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学3年生）を実施する。

**主要手段 05** 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

(6) 小学校5, 6年生対象のデジタル教科書(教材)を購入する。2021年度から次回教科書改訂の前年となる2023年度までの3年間、各単年度のライセンスを購入する。

2 事業期間  
2016年度～

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額(補助率・負担率等)  
17,570千円



担当課名【こども教育課】(内線2721)

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.42 事業名	豊岡の未来を創る高校生支援	2022年度 予算額	3,030千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

○ 小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」(英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育)を更に発展させた研修を実践することにより、ふるさと豊岡で活躍する人材の育成が育っている。

《事業目的(趣旨)》

○ 3週間の語学研修において、授業、課外活動、ホームステイ等の体験を通じた実践英語の習得、日本以外の多くの国籍の参加者との交流を通じたコミュニケーション能力の向上を図り、これらの経験を活かし、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成する。

1 事業内容

豊岡市が進める小中一貫教育における「ローカル&グローバル学習の時間」の取組(英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育)を受け、それを発展させた高校版ローカル&グローバル学習に取り組む高等学校の生徒を対象に、カナダビクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。

2 事業期間  
2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,030千円

担当課名【こども教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.43	事業名	非認知能力向上対策	2022年度 予算額	3,433千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことをめざす。

1 事業内容

(1) 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施

ア 市内すべての小学校1年生を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施する。

イ 指導には、専門性を持つ演劇関係者をファシリテーターとして活用する。

(2) 演劇ワークショップの効果測定の実施

ア すべての小学校において演劇ワークショップによる非認知能力向上への効果測定を実施する。

イ 効果測定は、青山学院大学の荻宿俊文教授の研究チームへの受託研究で実施する。

2 事業期間

2019年度～

3 事業主体

豊岡市



モデル校での演劇ワークショップの様子(2021.10.11)

4 予算額（補助率・負担率等）

3,433千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2以内）

担当課名【こども教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.44	事業名	英語遊び保育推進	2022年度 予算額	3,757千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている
- 自己肯定感を持てる子が増えている

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュの）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内の幼稚園・保育園・認定こども園（4・5歳児クラス）

イ 実施回数 年間15回程度  
（2週間に1回程度）

ウ 時 間 5歳児・40分、4歳児・30分

エ 指 導 者 英語遊び指導員 7名

(2) 英語遊び研修会の実施

幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。

(3) 英語遊び通信の発行

保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。

2 事業期間

2015～2016年度 6モデル園で先行的に実施

2017年度～ 市内の公・私立園に展開実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

3,757千円



“What’s your name?”  
園児が元気に答えている様子

担当課名【こども育成課】（内線2531）

具体的 手 段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	2022 年度 予算額	705 千円
------------	-------	-------------------	----------------	--------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
45	民間団体への婚活イベント補助	300 千円	継続
46	若者独身者交流	405 千円	継続
合計		705 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている		
No.45	事業名	民間団体への婚活イベント 補助	2022 年度 予算額	300 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。  
(民間団体による世話やきの充実)

《事業目的（趣旨）》

- 民間団体が主催する婚活・恋活イベントへの補助制度によりイベント開催を促進し、独身男女の多様な出会い機会を創出する。

1 事業内容

民間団体主催の婚活イベントに補助し、民間活力による出会い機会の創出を促進する。

- (1) 対象者 市内の団体、婚活イベントを実施する実行委員会等の団体
- (2) 対象経費 開催に必要な経費（飲食費、人件費等を除く）

※2016年度からの累計

19件実施、延べ450名参加、成立カップル93組、成婚数 3 組

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

**主要手段 06** 結婚したいと思う人が結婚できている

4 予算額（補助率・負担率等）  
300千円

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている		
No.46	事業名	若者独身者交流	2022年度 予算額	405千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 若者の手により、自然な交流の機会が増える。  
（若者自身による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 気軽に交流できる場を設けることで、若者の交流を促進し恋愛機運を高める。

1 事業内容

「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、交流の場を設ける。

「はーとピー企画委員」が中心となり、内容を企画、運営するなど若者自身の手による交流を促進する。

- 対象者 20歳～40歳の独身者
- 開催時期 月に1回（予定）
- 開催場所 市内レンタルスペース、飲食店等
- 事業内容 「はーとピー企画委員」が毎月企画・運営  
趣味や生きがいなどテーマを決めてフリートーク、スポーツ、  
ゲーム・占い、飲食などによる交流

2 事業期間  
2021年度～

3 事業主体  
豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）  
405千円

若者交流事業の様子

担当課名【健康増進課】（内線3101）

具体的手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	2022年度 予算額	4,234 千円
-------	-------	--------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
47	ボランティア仲人養成 (恋するお見合い)	969 千円	継続
48	出会い機会創出 (はーとピー)	3,265 千円	継続
重複	(No.45) 民間団体への婚活イベント補助	(300 千円)	—
重複	(No.46) 若者独身者交流	(405 千円)	—
合計		4,234 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 \_\_\_\_\_

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.47	事業名	ボランティア仲人養成 (恋するお見合い)	2022年度 予算額	969 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- お見合いイベントを実施することにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いをする。

(1) 「恋するお見合い」事業の流れ

ア 男女各24人を募集

イ 1週目に男性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影

ウ 2週目に女性が来庁、プロフィールを作成し、写真撮影

女性は男性プロフィールを見て、お見合いしたい相手を選ぶ

エ 複数の女性から選ばれた男性は、お見合いしたい女性を選ぶ

オ 双方の希望に基づきお見合いの組み合わせを決め、後日、縁むすびさんの立ち合いによりお見合い



主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

- (2) 開催回数  
2回（8月と3月に開催予定）
- (3) 開催場所  
市役所 立野庁舎内

2 事業期間  
2019年度～

3 事業主体  
豊岡市

4 予算額  
969千円



「恋するお見合い」のプロフィール作成の様子

10.29 (土)	10.30 (土)	11.2 (火)	11.3 (水)
18:00 - 19:00	9:00 - 10:00	18:00 - 19:00	9:00 - 10:00
19:00 - 20:00	10:00 - 11:00	19:00 - 20:00	10:00 - 11:00
20:00 - 21:00	11:00 - 12:00	20:00 - 21:00	11:00 - 12:00

参加費無料

WOMAN MAN

※ 男性はプロフィール作成後、女性のプロフィールを見て見合いしたい人を4名まで選びます。  
※ 女性は誰人でもくれた男性のプロフィールを見て見合いしたい人を選びます。  
※ 恋するお見合い（事務局ボランティア参加）は申し込みのものと、市内のカフェ等で実施いたします。

申込対象  
20代・30代の社会男女（男性は豊岡市在住または在住、女性は豊岡市・内務在住）

定員  
20代・30代それぞれ男女各42名

申込期間  
10/17(日)まで ※ 申し込み期間中申し込みは受け付けます。

申込場所  
豊岡市健康増進課ハートリープ推進室（豊岡市立野町12-12）  
※ 事務局、定数オーバーの際は、先着順で募集します。

申込料  
マスカット入場券（別）無料（別途予約）

申込方法  
下の二次元ホームページから申し込みをお願いします。氏名・住所・電話番号・性別・年齢・希望するお見合いの時間帯を必ず入力してください。※ 男性の場合は、お見合いの希望する時間帯（9:00～11:00）を選択してください。

申込先  
豊岡市健康増進課ハートリープ推進室  
〒668-0046 豊岡市立野町12-12  
0796-21-9100 heartree@city.soyogaka.lg.jp

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.48 事業名	出会い機会創出 (はーとピー)	2022年度 予算額	3,265千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》  
○ 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的（趣旨）》  
○ 婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を開催し、結婚を支援する。

1 事業内容

市の補助により2013年度から社会福祉協議会で実施し、2019年度から市主催として実施していた婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施する。

- (1) 婚活イベント予定開催回数  
年間12回

**主要手段 06** 結婚したいと思う人が結婚できている

(2) 結婚支援員が行うアフターフォロー

ア イベントカップルの交際フォロー、相談業務

イ 「縁むすびさん」と連携したお見合い

※事業実績

2013～2021年度（1月末現在）累計

95回開催、参加者2,466人、461カップル成立、成婚51組

2 事業期間

2013年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

3,265千円



特別ゲストのミラクルひかるさんの進行による  
婚活イベントの様子

担当課名【健康増進課】（内線3101）

具体的手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	2021年度 予算額	2,601 千円
-------	-------	--------------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
49	ボランティア仲人養成 (縁むすびさん)	1,352 千円	継続
50	結婚相談所機能拡充	821 千円	継続
51	結婚・女性活躍推進調査	428 千円	継続
重複	(No.16) 子育て支援総合拠点等整備	(76,404 千円)	—
重複	(No.48) 出会い機会創出 (はーとピー)	(3,265 千円)	—
合計		2,601 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細 (以下、事業ごとの説明)】

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している			
No.49	事業名	ボランティア仲人養成 (縁むすびさん)	2022年度 予算額	1,352 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像 (姿)》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。  
(市民による世話やきの充実)

《事業目的 (趣旨)》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数を増加させる。

1 事業内容

ボランティア仲人「縁むすびさん」を養成し、活動を支援する。

(1) 「縁むすびさん」登録後の活動の流れ

独身者への呼びかけ ⇒ お相手探し ⇒ 紹介 ⇒ 引き合わせ (お見合い)



**主要手段 06** 結婚したいと思う人が結婚できている

(2) 「縁むすびさん」への主な支援

- ア 登録時に「登録セミナー」を開催
- イ 研修と情報交換を行う「縁結び会議」を毎月開催
- ウ 会報「いくちゃんだより」の発行による啓発
- エ 報奨金の支給（成婚1組につき3万円）

※2021年度事業実績（2022年1月末現在）

- ① 縁むすびさん 136人（男性45人、女性91人）
- ② 登録結婚希望者 429人（男性240人、女性189人）
- ③ お見合い数 延べ331回
- ④ 成婚実績 8組

2 事業期間

2017年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

1,352千円



結婚を支援する縁むすびさんたち

担当課名【健康増進課】（内線3101）

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している			
No.50	事業名	結婚相談所機能拡充	2022年度 予算額	821千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 結婚相談所による成婚数が増加している。  
（公的団体（社会福祉協議会）による世話やきの充実）

《事業目的（趣旨）》

- 社会福祉協議会が実施する結婚相談所（Hapimari）事業費の一部に補助し、活動を活性化することにより結婚を促進する。

1 事業内容

社会福祉協議会に所属する結婚相談所のボランティア相談員のモチベーションを維持・向上するため、成婚報奨金の経費を補助する。

また、担当職員、相談員の資質向上のための研修に要する経費を補助する。

- (1) 成婚報奨金（成婚1組3万円）
- (2) 研修費（資質向上のための研修会開催費用等）

※2022年1月時点 成婚数27組

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

821千円



社会福祉協議会 結婚相談所（Hapimari）HP

担当課名【健康増進課】（内線3101）

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している			
No.51	事業名	結婚・女性活躍推進調査	2022年度 予算額	428千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- まちじゅうに世話やきな人が増え、成婚数が増加している。
- 子育てをポジティブにとらえる人が増え、希望どおりの人数の子どもを持つ家庭が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 結婚支援事業を推進するための調査・研究を行う。

1 事業内容

地方創生に係る結婚の支援、女性の活躍（子育て応援）を推進するため、研修、視察等を行い、より効果的な事業の推進を図る。

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

428千円



おせわをやきたい。

まちをあげて  
結婚を支援する市のロゴマーク

担当課名【健康増進課】（内線3101）